

日本学術会議公開シンポジウム・第5回防災学術連携シンポジウム  
「2017年九州北部豪雨災害と今後の対策」（仮案）の開催

1. 主 催：日本学術会議土木工学・建築学委員会、防災学術連携体

2. 日 時：平成29年12月20日（水） 10時から17時

3. 場 所：日本学術会議講堂

4. 開催趣旨：

近年の我が国では豪雨災害が頻発しています。本年7月6日には九州北部豪雨災害が発生し、8月に政府はこの災害を「激甚災害」に指定しました。防災学術連携体（55学会）は7月7日にホームページにこの豪雨災害のページを開設し、学会の調査情報、国土交通省・気象庁などの最新情報を掲載し、関係者間の情報共有に努めています。この他の地域においても豪雨災害が多発しています。多くの学会が、豪雨災害軽減のための現地調査や研究に取り組んでいると思います。

日本学術会議と防災学術連携体は、平成28年12月1日にシンポジウム「激甚化する台風・豪雨災害とその対策」を共同主催しました。この度は、これに続く議論の場として、2017年九州北部豪雨災害に注目して、防災学術連携体の参加学会の発表を主とした公開シンポジウム「2017年九州北部豪雨災害と今後の対策」を開催することにしました。

防災学術連携体の参加学会の多様な調査・研究情報について、多くの皆様の発表を期待しています。

5. 次 第：

司会 防災学術連携体

10:00 開会挨拶 日本学術会議 土木工学・建築学委員会委員長

10:05 来賓挨拶 内閣府 防災担当 政策統括官

10:10 趣旨説明 日本学術会議または防災学術連携体

10:20 セッション1

「2017年九州北部豪雨の発生と気象状況」

まとめ役：

公募による学会発表（4学会）

11:20 セッション2

「地形などの状況と2017年九州北部豪雨災害のメカニズム」

まとめ役：

公募による学会発表（6学会）

12:50 昼食休憩（50分）

13:40 セッション3

「2017年九州北部豪雨災害における避難情報の伝達・避難と救援」

まとめ役：

公募による学会発表（5学会）

15:00 休憩

15:15 セッション4

「2017年九州北部豪雨災害からの復旧・復興対策」

まとめ役：

公募による学会発表（4学会）

※なお、学会の数は目安で、応募の多寡で増減させていただきます

16:15 全体討論

「2017年九州北部豪雨災害から学ぶ教訓と今後の対策」

コーディネーター：

16:55 閉会挨拶 防災学術連携体

17:00 終了